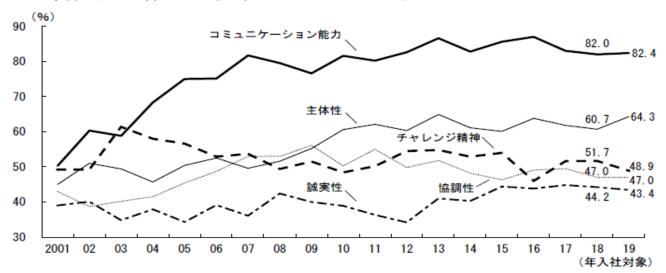
保護者向け進路説明会~就職~

2021.4.24.

1)はじめに~高卒生就職の現状~

厚生労働省のデータ(別紙)によりますと、本年3月高卒者の就職内定率(令和2年10月末現在)は64.2%と、前年同期比0.2ポイントの上昇となりましたが、求人倍率は2.43倍で同0.32ポイントの低下となりました。また、業種別で求人数をみると人手不足が深刻な業種は求人数が減っておりませんが、観光や飲食などの新型コロナウイルスの影響が大きい業種は大幅に求人数が低下しております。しかし、本校18期生の就職希望生徒達も就職活動をがんばり、今春から社会人として活躍しております。

会社を選らなければだれでも就職できる状況となっておりますが、就職するには採用試験がありそれに合格しなければ、希望の会社に就職することができません。下記は、一般社団法人日本経済団体連合会「2018年度新卒採用に関するアンケート調査結果」の選考時に重視する要素の上位5項目です。図を見ていただければわかるように、学校生活にも必要な力を企業が求めていることがわかります。



さらに、これからは多くの仕事が安価な労働力や機械、AI、外国人労働者に取って代わられると言われています。 (株)野村総合研究所2015年12月2日付のニュースリリースでは、日本の労働人口の約49%が、技術的には人工知能やロボット等により代替できるようになる可能性が高いと推計されると発表されました。技術進歩には、だれも逆らうことはできません。ロボットは、どんどん進化していきます。けれど、ロボットにはできないことが人間にはできます。それが何か、自分自身で考えて、強みにしてそれを磨いていかなければなりません。

自分の就職したい会社に就職するためには、自分の強みを見つけてそれを磨き、自分に最も適した会社を見つけることが重要になってきます。就職するということは、働き手が自分の大切な時間を売り、その対価として給料をもらうことです。自分に合わない会社へ就職をして辞めてしまっては、意味のない時間を費やすだけになってしまいます。

そうならないためにも、企業のことについて調べ、自己と向き合い自分自身を磨いていく必要があります。就活と は人生の投資ではないでしょうか。

その人生の投資に進路部をはじめ、19 期生学年団が一致団結して生徒たちの進路実現にあたります。ご家庭でもいろいろと話していただき、一緒に就職活動に考えていただければ幸いです。

就職(求人・採用)の現状 (補足)

新型コロナウイルスの影響により、各企業とも求人を見直しております。そのまま継続して募集を行っている企業も あれば、採用を中止している企業などもあり、先を見通すことができない状況となっております。

しかし、ここで言えることはどの企業においても、企業は本当に「一緒に働きたいと思える」「魅力のある」生徒であれば採用するが、そうでなければ採用は見送るというように、就職は依然「選ぶ時代から選ばれる時代」にあります。職種でみてみると、すでに多くの企業からは事務職という職種自体が少なくなってきています。販売職においては契約や派遣、アルバイト・パートで事足りる場合が多く、正規採用枠の減少に歯止めがかけられない状況です。製造業・運送業といった職種については、依然多くの求人が届いています。

特徴的なことは、これまで面接重視で筆記試験を課さなかった企業や、筆記試験に重きを置いていなかった企業が、筆記試験(学科・一般常識・SPI)を課す方向に転換したり、筆記試験である程度の成績が取れない場合はその時点で不採用とする、といった方針を打ち出していることです。また、面接においては、明確にその企業・職種に対する思い入れや興味・関心が採用のポイントになる企業もあります。

そして最も大切なことは、企業選びの際に「自分に合った」仕事・企業をしっかりと選ぶということです。給料や場所、職種といった一部の情報だけで選ぶと「ミスマッチ」が生じ、後になって必ず後悔することになります。そうならないためにも、できる限り職場見学に参加し、求人票を隅々まで読み込む等の情報収集と、「自己分析」が必須となります。

- ①基礎学力の養成<一般常識(国・社・英)・数学・理科・漢字語句・作文など>
- ②健康状況(欠席日数)
- ③読書・社会 の出来事への関心(新聞・ニュースなど)
- ④表現力・判断力・リーダーシップやチームワーク(部活・行事・校外活動など)
- ⑤自己分析力·将来像

2) 学校斡旋就職について

就職先への応募や書類のやり取りなど、生徒と企業の間を学校(及びハローワーク)が仲介する就職の仕組み。

※「学校斡旋就職のしくみ」・・・

企業が高校生に求人を出す場合、求人票(会社概要・業務形態・職種・勤務形態・賃金・各種の保障、保健・ 入社試験内容・求人数等々を記載した書類)をハローワークに提出し、ハローワークが正当だと認めた求人 票を高等学校に送付します。(7月1日以後)

送付された求人票は、生徒に公開され校内選考を経て受験企業が決定し、応募、受験となります。

その際、求人票に記載されていない試験が行われたり、入社後に求人票に記載されている内容と異なる待遇があったりした場合、本人の申し出によりハローワーク及び大阪府教育委員会と連携の下、当該企業に指導を入れることができます。

学校斡旋就職のシステムは、高校生の就職を保障し、高校生の就職を守るためのものです。履歴書等においても、「近畿統一用紙」と呼ばれる用紙を用い、受験者のプライバシーを守るようにしています。

就職協定(学校斡旋による就職)

- ・ 7月1日 求人票受け付け開始 9月5日 応募書類発送 9月16日 就職試験開始
- ・ 受験企業は一人一社
- 合格(内定)の場合は必ず入社すること(「誓約書」提出)
- 「かけもち禁止」・・・進学や各種の公務員試験とのかけもちを認めません。

就職斡旋の流れ(学校斡旋による就職)

7月1日以降、企業が高校へ求人票提出

- → 求人票を見て見学する企業を決定する。企業見学は7月下旬~8月中の短縮授業中に実施。
- → 自分の希望業種・職種・適性などで受験企業を選び、「斡旋カード」を提出。(8月24日締切)
- → 校内選考·調整 (8月25日) → 受験企業決定 → 応募書類作成 → 9月5日書類発送
- → 9月16日就職試験開始 → そして「内定」となります

自己開拓や縁故は学校斡旋のような保障がありません。安心して働けるようにも、学校としては「学校斡旋での就職」をするよう指導しています。

3) 就職希望者に対する指導方針

A:基本は**学校生活を大切に**すること

- 授業を大切にし、苦手な教科・科目も努力すること。
- 遅刻・欠席はしないこと。
- さまざまな学校行事に積極的に参加する。(体育祭・文化祭等)
- 部活動など学校生活を最後までやりきり、多くのことを学ぶ。
- 検定(英検・漢検など)に挑戦すること。

B:社会に目を向けること・自分を知り、自分を磨くこと

- ニュースや新聞を毎日チェックすること。
 - 日々、世の中は変化しています。新聞やニュースに関心を持ちましょう。時事問題に関心を持ちましょう。
- 読書習慣をつけること。
 - 本を読むことで自分の教養が高められます。読んだら、心に残った文章、感想などを、書き留めておきましょう。
- 文章を書く練習をすること。

「作文」を入社試験の課題にする企業が増えてきています。「高校生活の思い出」や「高校生活で一番印象に残っていること」、「将来の夢」や「社会人になるにあたって」など、限られた面接時間では聞けない内容を、文章から知ろうとするものです。作文は、当日試験会場ですぐに書けるものではありません。400字~600字程度の文章が書けるように、日頃から何度も練習しておきましょう。

就職を希望する生徒の指導について(補足)

① 適性検査について

進路部では、クレペリン検査・SPI検査を実施します。

- ② 履歴書写真について(料金については業者と調整中。例年は 900 円別途撮影代徴収。) 頭髪・服装を正した人のみの撮影です。(眉が無い、カラーコンタクト、ピアスの穴があるのは不可)
- ③ 模擬面接について

集団面接・個人面接をおこないます。服装はブレザー着用で行います。(ネクタイ・リボンも着用です。)

④ 就職登録について

就職希望者に対しては、就職登録を確認する書類(就職登録票)を提出してもらうともに、書類発送費用・クレペリン・SPI検査費用として、一人当たり3,000円を徴収します。残金は、後日返金します。(就職登録は4月27日(火)に締め切ります。)

就職登録票について

- 就職登録票の目的について
 - ▶ 進路部就職担当者が「就職」の生徒を把握し、就職活動をサポートする体制を構築します。
 - ▶ 提出させることで「就職」することを意識付けを行います。
- 就職登録票の提出について
 - ▶ 卒業後の進路が「就職」の生徒は、全員提出することとします。
 - ▶ 専門学校や大学などの進路希望から「就職」に変更するなど、公務員も含めた「就職」に進路変更した場合は、決定次第就職登録票を提出することとします。

公務員希望者に関して

公務員の採用試験は、公開・平等を原則とした試験の成績にもとづく実力本位の試験です。ここ数年の厳しい 雇用情勢の影響もあってか、毎年大変高い競争率になっています。大阪府内でも多くの市町村では募集人数が 大幅に削減されたり、また募集自体がない場合もありました。試験の構成は、国家・地方、または職種によって、教 養試験や専門試験、適性試験などいくつかの区分に分かれます。

(例) 国家公務員Ⅲ種試験の教養試験は、一般知識と一般知能の2つに分けられ、試験水準は、高校卒業程度になっています。しかし、出題範囲は、社会・数学・理科・文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈など多岐にわたります。独特な形と広い範囲で実施されるので、まず正確な試験情報を得ることが大事です。また、このような問題を解くには、毎日こつこつと勉強することが、カギになります。

公務員にも様々な仕事があります。まず、自分がなりたい仕事を決める必要があります。また、公務員試験と民間企業との<u>併願はできません</u>。理由は、公務員試験が終わった時には、民間企業の就職は終盤に入っているからです。(先に民間企業を押さえておいて、公務員試験を受験することは絶対にできません。)

非常にハードルは高いですが、本校生も過去5年間で、大阪府警、大東・四条畷消防組合、自衛隊などに合格していますので、決して可能性がゼロというわけではありませんが、地道な努力が必要となります。

就職指導担当 漆原 功二 岩本 俊英